

## NTR ケミストリーズ

末永康一元長工野球部監督が教え子でもある長工野球部 OB を主体に結成した軟式野球のクラブチームで長崎市軟式野球連盟 2 部に登録、活動している。OB 会より登録料等の後援をしている

天皇杯全日本軟式野球県大会に長崎市代表として出場

準々決勝で惜しくも舩田グループに惜敗した。

1 回戦 NTR ケミストリーズ 3 - 2 西龍

準々決勝 NTR ケミストリーズ 4 - 5 舩田グループ (タイムブ레이크)

### member

氏名	卒年
廣津 雄太郎	2020
山口 雄揮	2020
前田 悠生	2020
橋口 あかり	2020
小川 篤大	2019
尾上 吏玖	2019
山崎 敦士	2019
佐藤 太一	2019
本田 樹	2019
松岡 大翔	2019
吉田 海斗	2019
神田 海斗	2019
川崎 翔太	2019
横尾 空我	2019
谷口 紘香	2019
小林 陸	2018
粒崎 蒼	2018
中山 圭介	2018
長畑 麟太郎	2018
前濱 大心	2018
中尾 柗太	2018
江頭 勇進	2018
津口 大蔵	2018
中尾 将也	2012
末永 康一	2002

# 天皇賜杯全日本軟式野球県大会

## 親和銀行3連覇

2020年7月6日長崎新聞

### 2番磯が好機演出

軟式野球の天皇賜杯第75回全日本ENEOSTーナメント県大会は6月28日と7月4、5日、諫早市第1野球場などで行われ、2年連続同じ顔合わせとなった。親和銀行が長崎サニクリン16チームがトーナメントで競った。新型コロナウイルス感染防止のため、球場入りする際は選

○：投手戦となった決勝は、親和銀行が最終回の好機を逃さずにV3を達成。先頭打者で出塁して攻撃の口火を切った磯は「緊張感のある展開で、しっかりと自分のプレーができた」と胸を張った。

初回も1死から左中間を破る三塁打を放った巧打の2番打者。九回は「好投したチーム。今後は各種大会

を見据えながら、チームとして仕上げていく。10月末に開幕する全日本大会に向けて、磯は「昨年の4強以上を目指して対応力を磨いていく」、29歳のエース岡部は「若手投手を育ててチーム力の底上げを図りたい」と意気込んでいた。(則行優志)

手や関係者全員がマスク着用などを徹底した。決勝は0-0で迎えた九回、親和銀行の先頭磯が中前打で出塁。犠打や四球などで1死満塁とすると、6番高井の中前打に敵失が絡んで一挙3点を奪った。投げては右腕エース岡部がテンポよく低めをついて3安打完封。長崎サニクリンも先発牧が八回まで4安打無失点と好投したが、打線が四回1死1、二塁の好機などを生かせなかった。

造船所、長崎サニクリン5  
1-3鹿町バンビーズ  
▽準々決勝 親和銀行7-1  
OTAKEOFF、舩田グループ5-4 NTRケミストリーズ  
▽三菱重工長崎1-0南  
串野球部、長崎サニクリン  
5-2エンジェルズ  
▽準決勝 親和銀行7-0  
舩田グループ、長崎サニクリン  
2-1三菱重工長崎  
▽決勝  
親和銀行 3-0長崎サニクリン

親和銀行は全日本大会(10月30日~11月4日・岡山)に出場する。

▽1回戦 親和銀行9-1  
TEAM橋口、TAKEOFF  
F4-3松浦ベイスターズ、  
NTRケミストリーズ3-2  
西龍ク、舩田グループ3-2  
島原トータス、三菱重工長崎  
8-0福江ドリムスター、  
南串野球部1-0厳原クラブ  
1、エンジェルズ4-2大島